

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

校訓「すこやかに あかるく つとめてやまず」を柱に、「豊かな人間性と優れた創造性を持ち、たくましく生きぬくための『知・徳・体』の調和がとれ、岩津の歴史と文化を継承する岩津っ子の育成」に努める。

《めざす子供像》

- ・目標（課題意識）をもち、達成（解決）に向けて粘り強く取り組む子 ……………（知）
- ・命を大切にし、豊かな感性をもち、思いやりのある子 ……………（徳）
- ・自他の健康や安全に気を付け、進んで体を鍛え、笑顔で活動できる子 ……………（体）

(2) 経営方針

子供の幸せを願い、教職員が意思統一した指導体制のもと、家庭や地域の方々と連携を図りながら、子供が居心地の良さを感じることができる学校づくりをする。また、子供たちの「生きる力」を育む教育を推進し、子供たちが持続可能な社会の担い手としての人格の形成を目指す。

- ① 子供たちが自他の命を尊重し、思いやりや感謝する心を大切にするとともに、信頼と相互理解に支えられた、望ましい人間関係を築くことができるようにする。
- ② 家庭、地域の願いを受け止めた上で信頼関係を構築し、「共に育てる」教育を推進する。
- ③ 授業力、指導力の向上を目指して教職員一人一人が自ら研修することで、人間力があふれ互いに磨き合える教職員集団をつくる。

(3) 本年度の重点努力目標

- ① 子供一人一人を大切にし、よさを伸ばす学級・学年・学校づくり【全】
 - ・対話を重ね、子供の育ちの背景や特性、多様性を受け止めた発達支持的な支援
 - ・長期欠席者への配慮と新たな一人を出さない絆づくり、居場所づくりの推進
 - ・成功体験に基づく、自己肯定感・自己有用感を創出する学級活動、学校行事の充実
- ② 主体的に学び、確かな学力を身に付けた子供の育成【知】
 - ・子供たちの「できるようになったこと」を増やすための、魅力ある授業への挑戦
 - ・心理的安全性（チーム学習等）の担保に基づく「協働的な学び」の充実、および主体的・対話的で深い学びの実現
 - ・I T C機器の効果的な活用と学習の「効率化」、「個別最適化」の推進
- ③ 心豊かで思いやりのある子供の育成【徳】
 - ・道徳科の授業改善と自他の命を大切にする温かい学級活動の構築
 - ・豊かな心を育む読書や読み聞かせ等の読書活動の充実
 - ・あいさつの励行とともに、友達のよさを発見し、互いに認め合う活動を推進
 - ・特別支援学級や異学年、異校種（岡崎聾学校）との交流、直接体験活動の充実
- ④ たくましい心と体をつくる子供の育成【体】
 - ・ボール体操や体育科の授業、体育的行事の充実
 - ・健康教育（保健、安全、食育等）の推進
- ⑤ 家庭、地域との連携協力【家庭・地域】
 - ・支援が必要な子供のわずかな変化を敏感にとらえ、子供に寄り添った支援や相談活動を実施
 - ・学校通信やホームページ等の充実
- ⑥ 多忙化解消に向けての業務改善
 - ・タイムマネジメント能力向上への取組
（毎月1日ずつ定時退校日を設定 ・会議、打ち合わせの効率化 等）

(4) めざす教師像

- ・子供に惜しみなく愛情を注ぎ、その可能性を引き出し伸ばすことができる情熱をもった教師
- ・笑顔で明るく対応し、心身ともに健康な教師
- ・豊かな人間性を持ち、他の職員と協働して積極的に教育活動に取り組むことができる教師
- ・自身の言動に責任をもって子供と接し、保護者、地域から信頼される教師